

御原小学校だより

全校児童数 293 名

教育目標「志をもち、よりよい社会の創り手として、未来を切り拓く子どもの育成」

【合言葉】「伝え合って、語り合って、笑顔いっぱい」

文責 遠藤 芳徳

いよいよ九州北部も梅雨入りです

夏本番のような熱い日差しが降りそそぐかと思いきや、昨日はしっかりとまとまった雨が降りました。九州北部はいよいよ梅雨入りです。緑が美しく映える時期ですね。

さて、この時期に先生方が頭を悩ませるのは、有り余る子どもたちの元気をどのように発散させるかといったことや、雨の日に校内で「安心・安全」な環境をどうつくっていくかといったことです。また、それ以外にも雨漏り問題があります。

体育館は昨日くらい本降りになると、あちらこちらから雨だれがおちてきます。改修の要望を毎年しているのですが、市全体での予算のため、仮補修での対応しかしてもらえず、根本的な解消には至っていません。草花には有り難い季節なのですが・・・。



スポーツテストで三井高校のみなさんにお世話になりました。

5月26日（火）にスポーツテストを実施しました。このスポーツテストには毎年三井高校の生徒さんたちに協力してもらって、競技のルール、よい記録を出すコツを教えてもらうほか、競技中の応援など、たくさん力を貸していただいています。子どもたちもすっかりその気になって、頑張る様子が見られました。また、給食時には教室で一緒に食事をして、昼休みには遊んでもらって、充実した一日を過ごしていました。三井高のお兄さん、お姉さんたちもヘトヘトになりながらも、子どもたちに慕われて、とてもうれしそうでした。



宝城中学校区教育フォーラム

6月3日（水）14：00から、宝城中学校（1年生・2年生）、味坂小学校・御原小学校（5年生・6年生）の3校、4学年が集まって本校で教育フォーラムが開催されました。

この取組は宝城中学校区「人権のまちづくり」の取組の一つで、『同和問題の解決を通して、人権確立を展望し、学校間の連携を基軸に、学校を開き、地域と一体となって「一人ひとりが生き生きと暮らし、誇れるまち」の実現を目指していくこと』を目的としています。大人が「地域の中で子どもたちをどう育てていくか」を話し合いながら、子育てのネットワークをつくり、学校を発信源とした取組から始まりました。その取組の一つがこの教育フォーラムです。

今回実施した教育フォーラムの目的は

- ・各学校（宝城中学校・味坂小学校・御原小学校）の子どもたちが、お互いの意見を自由に交流し合い、考えを深めたり、つながりを強めたりして、互いの人権意識を高める機会にする。
- ・子どもたちの生の声を大人が聞き、子どもを理解し、家庭・地域でどのように子どもを育てていくかを考える機会にする。

といったことです。



今回は「わたしOK あなたOKのコミュニケーション ～感じ方のちがいを考えよう～」をテーマに、3校混合の10名程度を1グループにして中学2年生が進行役となって分散会を実施しています。

小郡市教育推進協議会での要望

小郡市では毎年この時期、市内小・中学校の校長と各学校のPTA会長さんが集まり、教育委員会に教育環境の改善要求を行っています。

本年度、本校はプールを撤去し、駐車場の拡張すること、体育館の空調整備、運動場南門、西門の改修、教室内のカーテン設置（着替え時に使用）等の要望をしていきました。小郡市も財政難とあって、大規模なものはなかなか進みませんが、声を伝えていくことが大切だと考えています。

BBクラブが始まりました

5月26日より、毎週火曜日と木曜日の日程でBBクラブがスタートしました。

BBクラブとは、市内の8小学校で、学校施設を利用して地域の大人や学生、教職員OB、教職員の見守りの中で、子どもたちの遊びや学びの場をつくる取組です。遊びの場では異学年での遊びの中で仲間づくりを、学びの場では自学自習の習慣づくりを取り組んでいきます。遊びや学びを通じた「人の間で伸びる力」をつけることを目指しています。

CAP大人セミナー・引き渡し訓練

6月13日（土）は、CAP大人セミナー、引き渡し訓練です。

近年、大雨・台風等で休校になる機会や、下校時に安全確保が必要となる機会が増えてきました。もしもに備えて、学校と家庭の連携した取組を進めていく必要があります。そこで、昨年度から引き渡し訓練を開始しました。本年度はより本番に近い形で取り組みたいと考えております。詳しくは5月15日に配信したメールをご確認ください。